

令和2年度 鹿児島県図書館大会 第3分科会 中学校部会
授業で活用される図書館を目指して ～課題研究との関わりを中心に～

鹿児島修学館中学校・高等学校
司書 前田 理恵

1. はじめに（学校概要）

学校法人津曲学園 鹿児島修学館中学校・高等学校

└▶ 本校のほか、鹿児島国際大学・鹿児島高等学校・鹿児島幼稚園を擁する。
鹿児島市永吉にある私立の中高一貫校（男女共学／高校 普通科）

設 立 昭和58年4月

生徒数（学級数） 中学202名 高校87名（計10クラス）

教育目標 「みんなが学ぶことの楽しさを知り、学び続ける力を身につける」

令和2年度から国際バカロレア中等教育プログラム（MYP）候補校に認定

2. 図書館について

面積（座席数） 192.4 m²（57席）

蔵書冊数 39,828冊

その他 新聞6紙・雑誌16誌

生徒一人あたりの年間平均貸出冊数

中学 29.2冊 高校 8.7冊

運営組織 図書館運営委員会（司書教諭1名、各教科教員6名、司書1名）

本館3階に位置する中高共用の図書館で、生徒の教室とも近く、昼休みや放課後のみならず、生徒が気軽に立ち寄れる場所となっている。



3. 授業での図書館活用状況

授業利用時数は決して多いとはいえないが、徐々に増加している。

現在の図書館活用の中心は課題研究であり、他の教科にも活用が広がることを目指している。

(1) 課題研究（総合的な学習の時間・探究の時間）

〈中学〉

- ・ 探究のサイクルを繰り返し、課題研究の土台づくりを行う
- ・ 各学年の年間計画の中に図書館活用が位置づけられている
（例）POP作成、職業調べ、新聞活用、プレ課題研究など

〈高校〉

- ・ 1・2年生 テーマは自由（将来・興味関心）、1年かけて研究を行う
- ・ 3年生 2年間の成果を論文等にまとめる、1・2年生へアドバイス
- ・ 生徒一人ひとりにサポート・チェック担当教員がつく
- ・ 校内発表に加え、各種コンテストにも積極的に参加している

(2) 各教科の活用事例

科目	学年	授業内容	備考
理科	中1	好きな生き物を選び、その分類や生態等を調べ、レポートを作成する	R1年度は中2で実施
国語	中2	「枕草子」 作品の時代背景を理解する グループで指定されたテーマについて調べ、発表する	パスファインダー作成
保体	高2	L G B Tについて調べ、発表する	タブレット利用
倫理	高2文系	哲学者や思想家についてのレポート作成	夏休みの課題
生物基礎	高3文系	興味のある生物学的内容の本について、リーフレット(A4)にまとめ、紹介する	成果物は図書館に保管・展示 特集コーナーを設置

4. 図書館の取組

(1) 課題研究へのサポート

- ① 課題研究コーナーの設置・充実
テーマ決めからまとめ・発表までに必要と思われる資料を配架
ICT (Classi 等) を活用し、生徒の研究テーマの傾向を把握
- ② 図書館オリエンテーションを、課題研究を意識した内容に変更
インターネットでの情報検索、論文の探し方、統計資料の調べ方、他の図書館の案内など
- ③ ブックリスト・パスファインダー・テーマ展示案内の作成
「テーマ決め」、「本の探し方」、「本の読み方」、「新書」、「SDG s」、
「学際的（教科横断的）テーマの本」など

(2) ICT (Web 閲覧板等) を活用した授業者へのアプローチ ⇒ 校内連携の強化

- ① 校内外の図書館活用事例の共有
校内ネットワークに本校の図書館活用の記録 (Excel) を作成・公開
校外の活用事例も含めて、随時紹介する
オンラインでの図書館利用予約により、利用状況もひと目でわかる
- ② その他の図書館情報発信
イベント・お知らせ・図書館だよりなどを発信し、常に図書館活動をアピールする
- ③ 授業での図書館利用に関するアンケート (Google フォーム) 実施
必要な資料の購入や図書館活用計画作成の準備
利用予定の有無/時期/学年/科目/授業内容/購入希望/ご意見

5. 成果と課題

〈成果〉 校内の図書館活用意識の変化

〈課題〉 図書館活用計画の作成、館内の環境整備、情報活用能力の育成

課題研究に学校全体で取り組んでいるように、図書館活用にも学校全体で取り組むことが重要だと考える。校内での連携を大切にしながら、図書館活用の促進に向けて積極的に活動していきたい。